

4.8 ページ連写コピーをとる

操 作	キ ー	表示パネル
6 設定キーを押します。 コピーモードから「コピー・マウスウ」の表示に戻ります。		トレイ 2 A4 コピー・マウスウ 1
7 コピーキーを押します。 ページ連写コピーがはじまります。		

ページ連写コピーをとるときのご注意

- 操作4で「A4サイズ・ノコピー・ヨウシラエランテ・クタ・サイ」が表示されたときは、操作1でA4サイズ以外のトレイが選ばれています。
クリア/ストップキーを押してもう一度操作1からやりなおしてください。
- ページ連写コピーが設定されているときに、トレイキーを押してA4サイズ以外のコピー用紙を選ぶと、表示パネルに「ヘーシ・レンシャヲカイシ・ヨシマシタ」が表示され、自動的にページ連写コピーの設定が解除されます。
- 枠消去が設定されているときに、ページ連写コピーを設定しようとする（操作4）、表示パネルに「ヘーシ・レンシャテ・ハワクショウキョテ・キマセン」「ワクショウキョヲカイシ・ヨシマシタ」が表示され、自動的に枠消去の設定が解除されます。
同時に枠消去の設定を解除します。
- ページ連写コピーのときは、1ページ目のコピーになる左側の画像に合わせてAE（自動コピー濃度調整）をします。
左右の画像の濃度が極端にちがうときは、適正な濃度のコピーに仕上がらないことがあります。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

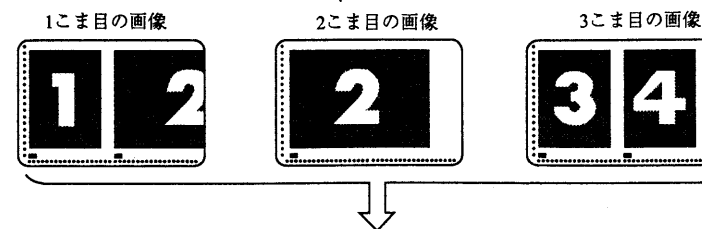
■ フルハーフ機能とは

A4の画像の画像はA4サイズのコピー用紙に、またA3の画像はA3サイズのコピー用紙に自動でトレイを選んでコピーすることができます。

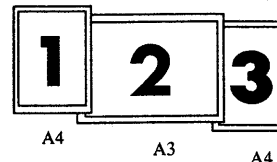
この機能を「フルハーフ」機能といいます。

たとえば、A3、A4の図面が混在している16mmカートリッジフィルムをTC12から検索範囲を指定して、コピーキーを押すと、A3、A4を自動で判断して、それぞれの大きさのコピー用紙にコピーすることができるのです。

「簡単な自動出図機能」と考えればよいでしょう。もちろんFU10、RU10で1こまず検索し、コピー用紙を自動で選ばせてコピーすることもできます。



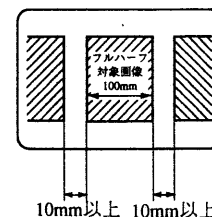
- フルハーフ機能は、枠消去機能と合わせて使います。
このため自動で枠のないきれいなコピーがとれます。



トレイを切り替えなくても、自動で画像に合ったコピー用紙を選んでコピーします。

■ フルハーフ機能がつかえる画像

つぎのような画像が、フルハーフ機能で検出できる対象画像となります。



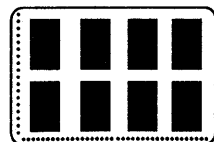
左から検索し、10mm以上のすき間のあとの1つ目の画像（幅100mm以上）がフルフレームの対象画像となります。
（この画像×電子ズーム倍率）をA4サイズに入るかA3サイズかを判断します。

ご注意

画像の幅が100mmに満たない画像は、フルハーフ機能で検出できないときがあります。
このときは、A3サイズでコピーされます。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

■ フルハーフ機能がつかえない画像



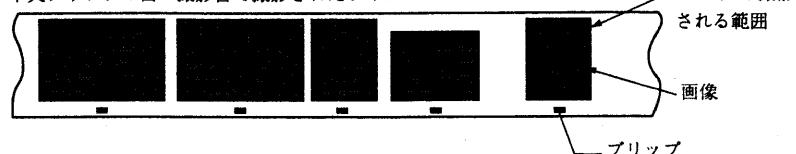
デュプレックスおよびデュオなどのフィルムで幅が100mmに満たない画像、また画像間が10mmに満たない画像は検出できません。このときはA3サイズでコピーされます。

■ フィルム撮影形態と画像停止位置の調整

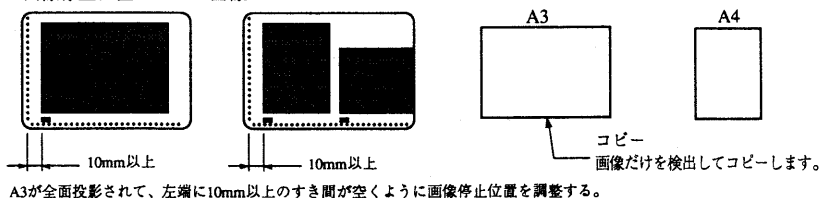
① 先端ブリップの黒い撮影台、およびロータリーカメラで撮影されたフィルム



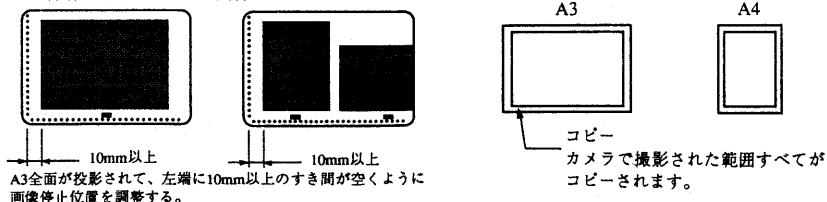
② 中央ブリップの白い撮影台で撮影されたフィルム



③ ①の画像停止位置とコピー画像

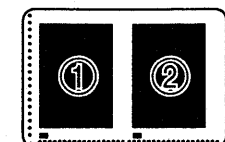


④ ②の画像停止位置とコピー画像



4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

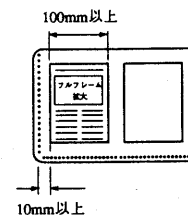
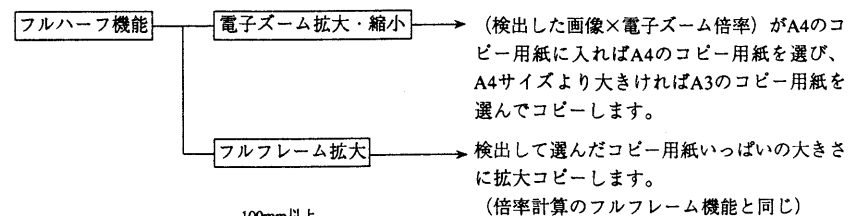
⑤ ⑥で画像停止位置がずれたとき



画像停止位置がずれて、10mm以上のすきまがないときは、②の画像が対象画像となります。

■ フルハーフ機能で画像を拡大・縮小するとき

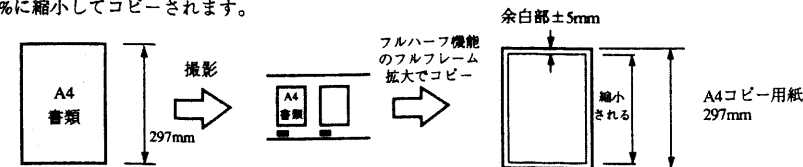
フルハーフ機能を設定しても拡大・縮小コピーをとることができます。



* スクリーンの画像は少し小さめに投影して、「フルフレーム拡大」でコピー用紙サイズいっぱいの大きさにコピーさせると良いでしょう。

ご注意

フルハーフ機能の電子ズーム拡大・縮小およびフルフレーム拡大をしても、撮影した書類の寸法どおりにはコピーできません。コピー用紙の周囲には±5mmの余白部分があり、この余白の内側にコピーされますので約93%~98%に縮小してコピーされます。



4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

ご注意

1. フルハーフ機能は、先に枠消去機能を設定しないと働きません。枠消去機能が設定されていないと、表示パネルに「ワクショウキョウシテイシテクタ*サイ」と表示されます。必ず先に枠消去機能を設定してください。
2. フルハーフ機能はA3とA4サイズのコピー用紙しか使えません。A3およびA4サイズ以外のコピー用紙が入っていると表示パネルに「トレイニA3トA4ヲセットシテクタ*サイ」と表示されます。フルハーフ機能を設定するまえに、必ずA3とA4サイズのコピー用紙をセットしてください。
3. 部分コピーのマスク機能が設定されているときに、フルハーフ機能を設定すると、表示パネルに「フルハーフテ*ハマスクテ*キマセン」「マスクヲカイシ*ヨシマシタ」が表示されて、自動的に部分コピーのマスク機能が解除されます。
4. フルハーフ機能が設定されているときは、表示パネルの用紙サイズ表示が「オート」に変わります。

フルハーフ設定なし

トレイ	1	A3
コピー	マイスウ	1

フルハーフ設定中

トレイ	オート
コピー	マイスウ 1

フルハーフ設定中にトレイを切り替えることはできません。

5. フルハーフ機能が設定されているときに、トレイキーを押すと表示パネルに「フルハーフチュウハトレイヲヘンコウテ*キマセン」が表示されます。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

■ フルハーフ機能の設定手順

A3、A4サイズのコピー用紙セット

LP10にA3サイズとA4サイズのコピー用紙カセットをセットします。

枠消去機能の設定

「4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる」P.55を参照して、枠消去機能の「斜めモード」または「垂直モード」を設定します。

フルハーフ機能の設定

次ページ以降を参照してフルハーフ機能を設定します。必要なときは、「フルフレーム拡大」機能も設定してください。

フィルムの検索

TC12/CU12、RU10またはFU10で画像を検索します。

コピー範囲の設定

コピー範囲やトリミングの範囲を設定します。

画像の位置調整

フルハーフ機能で検出できる位置に画像を停止させます。画像の幅100mm以上、画像間10mm以上の条件にあてはまるようにしてください。コピー範囲よりも少し小さめに投影すると良いでしょう。必要であれば、光学ズーム倍率や投影レンズを変えてください。

コピー

コピーキーを押すとフルハーフ機能が動いて自動的に用紙サイズを選んでコピーします。TC12をお使いの方は、コピーの範囲を指定して、コピーキーを押せばあとは自動でコピーできます。

ご注意

用紙カセットは、必ずA3サイズとA4サイズのコピー用紙カセットを使ってください。また、フルハーフ機能設定中は、コピー用紙のサイズをかえないでください。

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

フルハーフ機能を設定してコピーしてみましょう。

操 作	キ ー	表示パネル
1 LP10にA3サイズとA4サイズの用紙カセットをセットします。		
2 枠消去機能を設定します。 【4.5 コピーの周囲の黒枠を消してコピーをとる】P.55を参照して、枠消去の「斜めモード」または「垂直モード」を設定してください。		ワクショウキョ 1. 0 2. 0 3. ナシ
3 フルハーフ機能を設定します。 ① 拡張機能キーを押して「コピーモード」ランプを点灯させます。	拡張機能 0 枠消去 0 焼き補正 0 倍率計算 X コピーモード :	1. へ°-シ° レンシャ 2. フルハーフ
② 数字キーの[2]を押して、「2.フルハーフ」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	前回設定した番号が点滅します。 フルハーフ 1. スル 2. シナイ
③ 数字キーの[1]を押して、「1.スル」を選びます。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	フルフレーム 1. スル 2. シナイ
④ フルフレーム拡大するときは、数字キーの[1]を押します。しないときは数字キーの[2]を押します。	7 8 9 4 5 6 1 2 3 0	1. へ°-シ° レンシャ 2. フルハーフ

4.9 自動的にコピー用紙を選んでコピーをとる

操 作	キ ー	表示パネル
⑤ 設定キーを押します。 コピーモードから「コピー・マイスウ」の表示に戻ります。 これでフルハーフ機能が設定されました。	設定	用紙サイズが“オート”の表示に変わります。 トレイ オート コピー・マイスウ 1
4 目的のフィルムを検索します。 CU12/TC12、RU10またはFU10で画像を検索します。		
5 コピー範囲を決めます。 ・フルハーフ機能を設定すると、コピー範囲表示ランプはA3の表示になります。 ・トリミングを設定するときは、【4.4 部分的なコピーをとる①トリミング】P.44を参照して設定してください。		トリミングの設定なしで、電子ズーム倍率が100.0%のときはA3サイズのコピー範囲表示になります。
6 画像の位置を調整します。 コピー範囲表示またはトリミング範囲内にA3サイズにコピーしたい画像が入るように、画像停止位置を調整します。 画像の大きさが幅100mm以上、画像間の寸法が10mm以上になるように投影レンズを変えてください。		10mm以上 → 100mm以上 → 10mm以上 A3図面
7 コピーキーを押します。 FDIP6200がスクリーン投影されている画像に合わせて、自動的に用紙サイズを選びコピーします。		